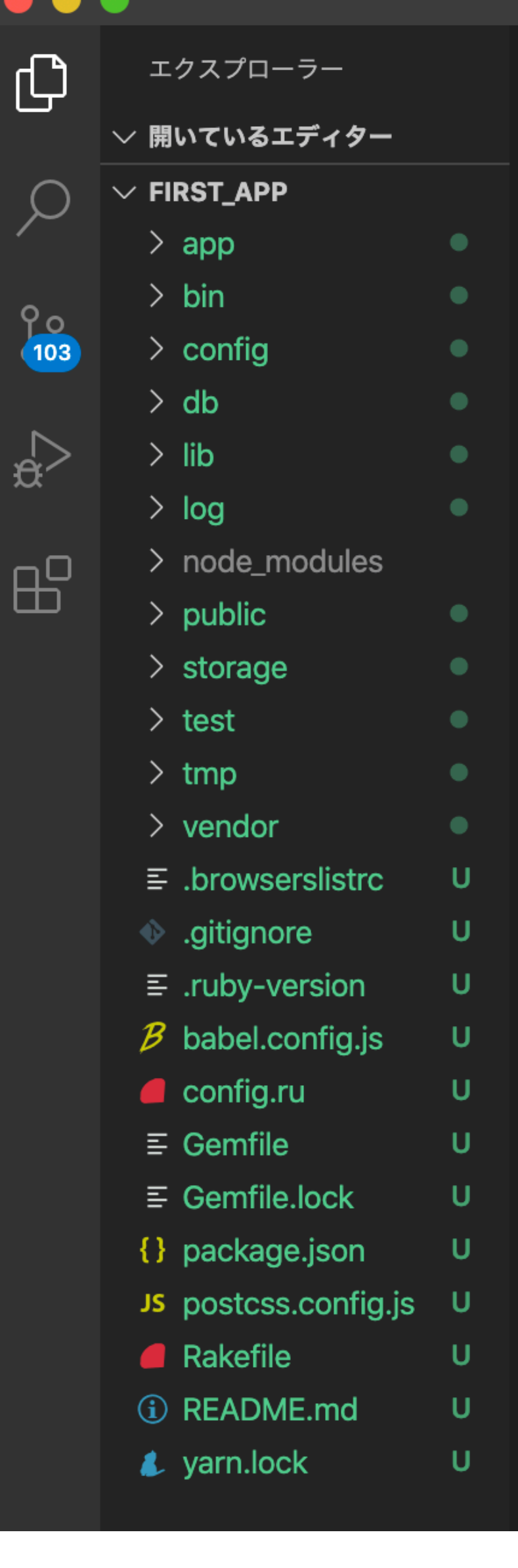


Ruby on Railsファイル構成

アプリのフォルダ,ファイルの役割

※あんまり使ったことのないフォルダ、ファイルは省いてます。

rails new すると↓のフォルダやファイルが生成される



- first_app
 - app

アプリのMVC(モデル、ビュー、コントローラ)が格納されているフォルダ
めっちゃくちゃ使う
 - config

アプリの設定ファイルが格納されているフォルダ
ルーティングファイルや、データベースの設定ファイルがある
 - db

データベースのマイグレーションファイルなどが格納されているフォルダ
 - public

公開フォルダ
あんまり理解はできていないですが、今後使うかも。
 - test

テストを行う際のフォルダ
使うみたいなんですけど、まだ試したことないんで詳細はわかりません。
でも知っておいた方がいいと思う。
 - .gitignore

Gitのためのファイル
 - gemfile

gem(拡張機能みたいな感じ)を追加するファイル
結構使うかも
 - gemfile.lock

gemが追加されると自動生成されるファイル
 - [README.md](#)

アプリの説明書的なファイル

各フォルダの詳細

- first_app
 - app
 - assets



イメージファイルや、スタイルシート(CSSファイル)などを格納するフォルダ
スタイルを編集したい場合は `assets/stylesheets/コントローラ名.scss` を開く
 - controllers



コントローラーファイルが格納されている
アクションなどを編集したい場合は `controllers/コントローラ名_controller.rb` を開く
 - models



モデルファイルが格納されている
バリデーションなどを編集したい場合は `models/モデル名.rb` を開く
 - views



ビューファイルが格納されている
各ページの見た目を編集したい場合は `views/コントローラ名/アクション名.html.erb` を開く
 - config

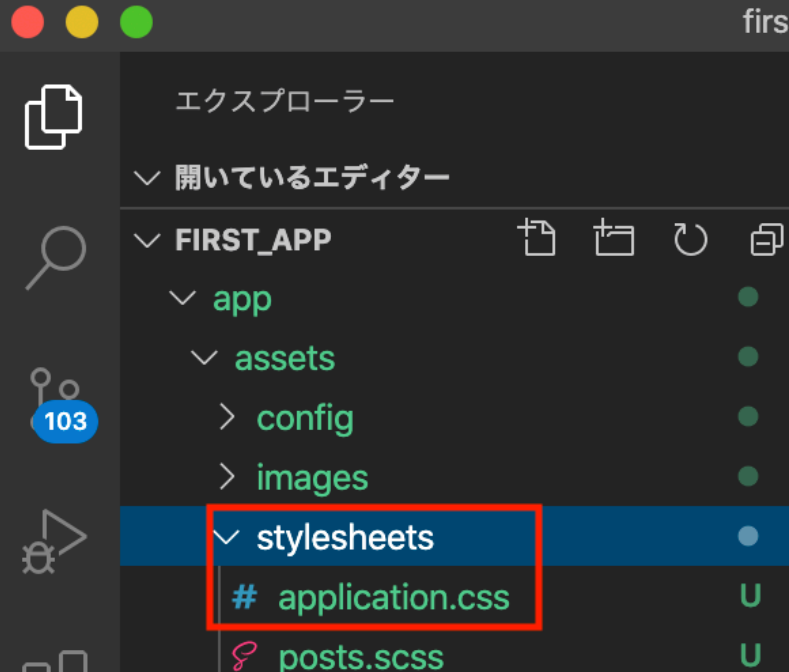


ルーティングファイルが格納されている
ルーティングを編集する場合は、 `config/routes.rb` を開く
データベースの設定のときは、 `database.yml` ファイルを開く
 - db
 - migrate



マイグレーションファイルが格納されている
マイグレーションを編集する場合は `migrate/*****_create_モデル名.rb` を開く

applicationファイルについて



いろんなフォルダに`application.css`のように`application.~`があると思いますが、これはアプリ全体のプログラムを記載できるファイルです。

(例)

```
# assets/stylesheets/application.css

h1 {
  color: red;
}
```

と編集すると全てのコントローラ、アクションページのh1の文字の色が赤になる。

まとめ

他にも大事なファイルがあると思うんですけど、とりあえずここまで分かっていたら楽になるはずです！
雑に作ったんで間違っているとこと分かりにくい表現があるかもしれないんでいつもで文句言ってください笑